

オンライントークイベント 「本にかかわる人の本にかかわるはなし」を開催します

新花巻図書館計画室では、図書館整備への関心をさらに高めるため、また、自分が欲しい未来の図書館像をイメージしてもらうため、最新の図書館事情や図書館を通じた本やメディアとの関わり方、新しい本を読む場所・空間の事例について、国内の出版業界で活躍する方をゲストに迎えて国内外の図書館等についてお話しいただくオンライントークイベントを3回にわたり開催します。

オンライントークイベント「本にかかわる人の本にかかわるはなし」

(1) イベントの概要

現在、国内で活躍する出版業界関係者をゲストに招き、自分自身の図書館体験や読書エピソード、地域の図書館の役割や世界の図書館事情について、60分のオンライントークイベントを開催します。

(2) 開催日時

【開催日】

令和3年11月11日（木）、11月18日（木）、11月26日（金）計3回

【開催時間】

各回とも、19時30分～20時30分

【イベント方式】

YouTubeLiveによる配信（PC・スマホ等でどなたでも視聴できます。）

※視聴のみになります（視聴する方が質問等を行うことはできません）

【視聴方法】

市ホームページ内で公開する視聴用アドレス（11月1日公開予定）にアクセスし、視聴してください。

(3) ゲスト及びトークテーマ

11月11日（木）

(株)マガジンハウス広告局局長
クロスメディア事業局局長
コロカル統括プロデューサー

おいかわ たくや

及川 卓也 さん

トークテーマ

地域図書館の役割
地域図書館の使い方
電子図書の可能性

岩手県一関市出身。雑誌『アンアン』編集長を経て、2012年ウェブマガジン『コロカル』を立ち上げ。クリエイティブスタジオとして、地方自治体のブランドづくり、プロモーション戦略支援、オウンドメディア制作、人材育成等を行っている。新潟県首都圏向けポータルサイト「新潟のつかいかた」、AIRDO機内誌「rapora」他、自治体、企業のオウンドメディア制作運用。書籍プロデュース「REVALUE NIPPON PROJECT 中田英寿が出会った日本工芸」、「colocal books 東北のテマヒマ」、「札幌国際芸術祭2017公式ガイドブック 札幌へアートの旅」ほか。「世界遺産平泉・一関DMO」理事。

11月18日（木）

(有)BACH代表
ブックディレクター

はば よしたか

幅 允孝 さん

トークテーマ

多様化する本を読む場
場にあった本の選び方

人と本の距離を縮めるため、様々な場所でライブラリーの制作をしている。最近の仕事として2021年7月に開館した「こども本の森 遠野」での選書・配架・サイン計画や「早稲田大学 国際文学館（村上春樹ライブラリー）」での本の分類・選書・配架。その他、「札幌市図書・情報館」の立ち上げや、ロンドン・サンパウロ・ロサンゼルス/JAPAN HOUSE など。安藤忠雄氏の建築による「こども本の森 中之島」ではクリエイティブ・ディレクションを担当。

11月26日（金）

(株)マガジンハウス
コロカル編集長

まつばら こう

松原 亨 さん

トークテーマ

世界1の図書館
体験を提供する図書館

1992年から男性ファッション誌『ポパイ』の編集に携わり、ファッション、音楽、インテリアなどを担当。2000年より月刊『カーサ ブルータス』創刊に参加。「安藤忠雄とルイス・バラガンを巡る旅」「アップルは何をデザインしたのか」など、幅広いテーマの特集を編集者として担当。カーサ ブルータス編集長、ポパイ編集長を歴任後、2020年webマガジン『コロカル』編集長に就任。日本のローカルカルチャーに関わるメディアの制作・運用を行う。